会計区分	01	一般会計	νημ. 1 ω	3- X			事業三	E体	03500000	03500000 建設水道部 上下水道課		#
大事業	61	6 つのまちづくり宣言		款項目	04	衛生費		02	清掃費		01	清掃総務費
八爭未	01	目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	W D T						D###		
中事業	11	主要な取り組み		KPI	-					目標値	日標値 -	
小事業	01	浄化槽設置補助事業		目標年度	令和6年	度						

	事業実施の 背景にある課題	下水道区域タースのでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水	トにおける生活排 単独浄化槽から	水の水質向上のが 合併浄化槽へのが	さめ、合併浄化権 切り替えが必要で	の新規設置推進 ある。	及び
インプ	事業目的	下水道計画以 (2)目的(補助金を交付。 あわせて、多進を図る。	誰、何を対象に は域外の住民 事業を行う事で することにより 奨励金(市単独補 置することにより	、解決すべき課題 、下水道計画区 ^は 助)を交付する。	或外における浄化 ことで、高度処理	ど槽の普及促進を 型の浄化槽の普	:図る f及促
ット	より良質な排水 側の補助金額が減 が減額とならな 合併処理浄化権	がで 額と いよ の設					
	事 業 費	(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
		予算額	14,062	14,205	13,565	16,117	
		決算額	8,825	10,061	7,259		
	年間の事業に要 (正職員/正職	する時間 員以外)		5	580 /	50	

- 1	
4	
	~

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
補助金交付件数(件)	目標値	23	18	18	18	18
	実績値	13	15	11		



1	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
l	下水道計画区域外における合併浄 化槽設置人口割合(%)	目標値	87	89	89	89.5	89.6
ı		実績値	88.6	89.6	89.2		



実	実績	岐阜県浄化槽推進市町村対策協議会負担金 15千円 設置補助金 (3月末): 5 人槽 8件、7 人槽 3件 合計 11件 7,259千円 うち補助金 4,458千円 うち奨励金 2,801千円
績	効果	下水道区域外における生活排水の水質向上につながった。 合併浄化槽が普及促進された。



	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	汲み取り槽や単独浄化槽を使用している方に合併浄化槽への切り替えについて理解されていない点がある。 経済的負担も発生することから切り替えが進まない現状がある。
評価分析	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	下水道排水区域外における合併浄化槽設置人口割合については、補助金の 効果もあり年々上昇しており、生活排水の水質向上につながっている。
	実績からR05年度 の事業の方向性	合併浄化槽の切り替えについてのHP、広報の掲載内容を充実するなど情報発信を強化し、また、窓口対応や電話対応の中で単独浄化槽、汲み取り槽利用者に対し個別案内を行うことにより普及促進を図る。

会計区分	01	一般会計	νημ. 1 ω	J.)(事業主任	03500000	03500000 建設水道部 上		下水道課	
大事業	61	6 つのまちづくり宣言		款項目	07	土木費	03	河川費		01	河川総務費	
八爭未	01	目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	W D T	·							
中事業	11	主要な取り組み		KPI	-			目標値		-		
小事業	08	雨水流出抑制対策事業		目標年度	令和6年	度						

	事業実施の 背景にある課題	っている。			充出による浸水 被 が求められている		とな
インプ	事業目的	(2)目的(することにより 施設を設置する	、解決すべき課題	題がどのように改 施設の普及促進を 雨時における河川	α善されるのか) 図る。 への流出を削減	┇ し、
ット	事業概要	・雨どいを洗 用することか ・河川へ流れ る。	れる水を雨水夕 できるため、補 る雨水を減少す	ンクに貯めて、 助金を交付して ることで、河川/	災害などの断水時 设置の普及促進を 間辺の浸水被害を	に生活用水とし する。 抑制することに	,て活 ∈もな
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
		予算額	695	590	470	463	
		決算額	128	39	10		
	年間の事業に要す (正職員/正職員				90 /	10	

4			ь
	4	,	~

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
雨水貯留浸透施設の設置件数(件)	目標値	8	7	7	7	7
	実績値	4	2	1		



	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
,	浸水被害件数(件)	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	2	1	0		



	_		
実	?:	実績	設置件数(3月末) 簡易貯留施設 1件 補助金交付額 10,000円
縝		効 果	雨水の有効利用による、水道水の節水及災害時の水不足軽減となった。 浸水被害の抑制にもつながった。



	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	ホームページや広報で周知しているが、有効性などについて住民の認知度 を上げることができなかった。
評価分析	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	浸水被害については、降雨量による影響が大きいが、抑制の一旦を担うことができている。
	実績からR05年度 の事業の方向性	有効性の周知について、効果的で新たな方法を検討する。

会計区分	05	下水道事業	7 1A 1 1 6	3- XC	m		事業主体	03500000	建設水道部 上	下水道記	₹
大事業	66	6 つのまちづくり宣言		款項目	01	下水道事業費用	01	営業費用		01	汚水管渠 (流関公共)
八争未	00	目指す姿		¥ 6 F							
中事業	01	主要な取り組み		KPI	-				目標値	-	
小事業	35	下水道維持管理事業(5水)	目標年度	令和6年	度			· ·		

	事業実施の 背景にある課題	近年、豪雨なさが増してい を実施してい	などの影響による 1るが、快適で衛 1く必要がある。	有収率の減少や配生的な住環境を約	固定費の増大によ 推持するため、施	: り、経営環境に 設の適切な維持	厳し
インプ	事業目的		誰、何を対象に 。 事業を行う事で 等の維持管理を 関境を守る。	していますか) 、解決すべき課題 計画的に行う事で	頭がどのように改 で、汚水を安定的	善されるのか) にかつ適正に奴	理し
ット	事業概要	・汚水管渠の ・汚水処理場	施設の維持管理 維持修繕の実施 の維持修繕の実 の使用料徴収委	及び使用料の賦記施 施 託の実施	果徴収を行う事業	400	
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
		予算額	845,910	855,834	848,820	940,448	
		決算額	748,222	793,514	766,093		
	年間の事業に要す (正職員/正職員	る時間 以外)		4,5	534 /	448	



活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
口座振替率(口振件数/収納件数)(%)	目標値	88.3	88.4	88.5	88.6	88.7
3月分口座振替収納額を含む	実績値	89.2	88.5	87.9		



K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
収納率(収納額/調定額)(%) 3月分口座振替収納額を含む	目標値	98.6	98.7	98.8	98.9	90
	実績値	98.9	98.7	98.5		



<u> </u>		
実	実績	・汚水管渠の維持修繕 2件(マンホールポンプ修繕業務 単価契約 1件、不明水浸入箇所修繕 1件: 田島処理分 区 & 小山処理分区) ・汚水処理場の維持修繕 9件(蜂屋川CC×3件、稲辺C C×1件、山之上中部CC×1件、伊深CC×4件) ・水道事業への使用料徴収委託(R5調定179,044件) ・収納率98.5%
績	効果	・不明水浸入箇所の調査や修繕工事の実施により、汚水管渠への雨水の浸入が減り、汚水処理量に占める有収率の向上につながる。 ・施設の状況に応じた緊急修繕や計画的な維持修繕の実施により、施設の 効率的かつ安定的な運営につながる。



	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	前年度と比較して、調定件数は3,631件(2.07%)増加したが、口座振替 依頼件数の割合は0.6ポイント減少しており、口座振替率も0.51ポイント 減小した。要因としてはコロナ禍による景気悪化が口座振替率低下させて いることも考えられる。
評価分析	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	前年度と比較して、調定件数は3,631件(2.07%)増加したが、調定額は3,723,326円(0.43%)減少しており、1件あたりの収納額が減少した。口座振替率が落ちていることも要因として考えられる。
	実績からR05年度 の事業の方向性	・汚水排水処理施設の適切な維持修繕を引き続き実施していく。 ・水道料金の未納者に対する月2回の給水停止の実施に際し、下水道使用 料も引き続き確実な納入を促していく。

会計区分	12	上水道	~	J.)(-	事業主体	03500000	建設水道部 上	下水道記	#
大事業	69	6 つのまちづくり宣言		款項目	01	水道事業費用	01	営業費用		01	原水及び浄水費
八争未	69	目指す姿		W B T	·						
中事業	01	主要な取り組み		KPI	-				目標値	-	
小事業	01	水道維持管理事業		目標年度	令和6年	度			· ·		

	事業実施の 背景にある課題	夏	な水の安定給水の 見かつ適切に実施		尼水池、管路など	での施設の維持管	穿理及
インプ	事業目		誰、何を対象に 事業を行う事で 池及び管路等の 同に供給する。		夏がどのように改 管理を計画的に行	α善されるのか) ∂う事で、安心・	安全
ット	事業概	・料金の算足	注持管理及び料金 なび浄水場の維持 が管路等の維持修 E及び徴収の実施	の徴収を行う事業 修繕の実施 繕の実施	¥		
	事業	費 (千円)	R02	R03	R04	R05	R06
		予算額	955,340	989,844	1,067,030	1,069,512	
		決算額	895,836	909,951	988,030		
	年間の事業 (正職員/]	こ要する時間 E職員以外)		12,0	990 /	4,485	

- 1	
4	
	~

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
口座振替率(口振件数/収納件数)(%)	目標値	87.3	87.4	87.5	87.6	87.7
3月分口座振替収納件数を含む	実績値	88	87.4	87.1		



~							
,	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
,	収納率(収納額/調定額)(%) 3月分口座振替収納額を含む	目標値	98.5	98.6	98.7	98.8	98.9
1		実績値	98.7	98.6	98.4		



	_		
実		実績	・浄水場の維持修繕9件(機械設備8件、浄水池1件) ・管路等漏水等修繕142件(うち本管漏水18件) ・水道料金調定(R4 220,073件) ・収納率98.4%
績	İ	効 果	・県水の受水や浄水場の機械設備などの適切な維持修繕の実施により、必要な配水量を確保し、安定給水の持続につながる。 ・漏水などの緊急修繕の迅速な実施により、断水区域や期間を最小限とし、安定給水の持続につながる。



	活動指標分析 目標値の達成 · 未達成要因	前年度と比較して、調定件数は3,162件(1.45%)増加したが、口座振替 依頼件数の割合は0.45ポイント減少しており、口座振替率も0.37ポイント 減小した。要因としてはコロナ禍による景気悪化が口座振替率を低下させ ていることも考えられる。
評価分析	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	前年度と比較して、調定件数は3,162件(1.45%)増加したが、調定額は8 ,676,798円(0.66%)減少しており、1件あたりの収納額が減少した。 口座振替率の低下も収納率低下につながっていると考えられる。
	実績からR05年度 の事業の方向性	・浄水場や配水池、管路などの施設の維持管理及び修繕を引き続き計画的に実施する。 ・水道料金の未納者に対しては、月2回の給水停止を実施し、引き続き確 実な納入を促していく。